

**第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 2 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答**

事業番号 40 事業・取組名 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	
質問	・自己評価 b は、なぜこの評価なのか教えてください。実施内容で、支給件数：0 件となっています。支給がないのに、なぜ b（概ね順調にすすんでいる）となるのでしょうか。
回答	<p>担当課：こども家庭相談室</p> <p>本事業は、国の補助で全国共通に実施されているひとり親支援施策のひとつですが、全国的に利用者が少なく、令和元年度の全国支給件数は 64 件にとどまります。また、本市においては、中核市移行後平成 29 年度に事業を開始してから支給申請がない状況が続いています。</p> <p>申請がない理由としては、対象者がひとり親家庭に限られることと、高校進学率が高く支援対象となる中卒者及び高校中退者が非常に少ないことにあると考えられます（令和 2 年度の本市の高校進学率は 99.3%で、横ばいで推移している）。</p> <p>本事業は、支給件数は 0 件ですが、他事業（自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金等事業）と合わせてひとり親家庭の学び直しの支援を目的とした事業であり、他事業の支給件数は概ね横ばいで推移し、それぞれのひとり親家庭に合わせた必要な支援が実施できていることから b（概ね順調にすすんでいる）と評価しました。今後も事業の周知に努めてまいります。</p>

事業番号 40 事業・取組名 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	
質問	・支給件数 0 件は何故か。受講終了時給付金と有るが利用する事で生活出来ない等の不安が有るのではないかと。受講費用の一部とあるが全額助成は出来ないのか。また受講費用はどれ位かかるのか。
回答	<p>担当課：こども家庭相談室</p> <p>本事業は、国の補助で全国共通に実施されているひとり親支援施策のひとつですが、全国的に利用者が少なく、令和元年度の全国支給件数は 64 件にとどまります。また、本市においては、中核市移行後平成 29 年度に事業を開始してから支給申請がない状況が続いています。</p> <p>申請がない理由としては、対象者がひとり親家庭に限られることと、高校進学率が高く支援対象となる中卒者及び高校中退者が非常に少ないことにあると考えられます（令和 2 年度の本市の高校進学率は 99.3%で、横ばいで推移している）。</p> <p>高等学校卒業程度認定試験講座の受講費用は、大手通信教育会社の講座を全教科受講する場合で 135,000 円です。塾や予備校に通学する場合は、受講期間や受講科目によって費用が大きく異なりますが、一般的に通信講座よりも高額になります。</p> <p>本事業について、国では、受講修了時及び合格時の給付金として、本人が支払った費用の 60%（上限 15 万円）と定めており、全額助成とする制度になっていませんが、生活費や受講費用不足への不安に関しては、当室で所管している母子父子寡婦福祉資金貸付金の利用も可能となっているほか、今後国では、支給上限額や支払い方など運用面での課題等について検討予定となっております。</p>